



令和2年8月5日(水) 岐阜県発表資料			
担当課	担当係	担当者	電話番号
公益財団法人ソフトピアジャパン	新サービス創出支援室	有馬 寛子	直通 0584-77-1188
			FAX 0584-77-1105
産業技術課 IT 利用促進室	IoT 導入支援係	河瀬 剛	内線 3052
			直通 058-272-8379
			FAX 058-278-2679

未来を築く最新『xR』セミナーを開催します

公益財団法人ソフトピアジャパンでは、先端的なIT技術やサービス等について普及・啓発を行い、技術交流等のコミュニティを中心とした企業間連携の促進を図っています。

国内外でVR(バーチャルリアリティ:仮想現実)/AR(オーグメントリアリティ:拡張現実)/MR(ミックスドリアリティ:複合現実)といわれる現実の認識に働きかける技術分野の普及が進んでいます。

「xR(エクスアール または クロスリアリティ)とは、すべての仮想空間技術(または空間拡張技術)であるAR、VR、MRなどをまとめた呼び方のことです。

本セミナーでは、コロナの影響下の中、コンテンツだけでなくトレーニングや3Dデータ活用、シミュレーションなどをハードウェアとソフトウェアの両面から『xR』について解説します。また、産学連携のAR事例紹介、違う目線としてコンピュータや科学技術に関する哲学環境・倫理的問題なども解説いただき、岐阜県内に次世代技術を普及することを目的とします。是非ご参加ください。

記

- 1 日 時 令和2年9月2日(水) 13時30分～16時00分
- 2 場 所 オンライン開催(web 会議システム Zoom を使用。自宅等からご参加ください。)
 - スピーカー又はイヤフォンが利用可能なPCやタブレットをご準備ください。
- 3 主 催 公益財団法人ソフトピアジャパン
- 4 協 力 日本ビジネス総合専門学校
- 5 対 象 xR (VR・AR・MR等)に関心のある方
- 6 内 容
 - 13:00～ 開場
 - 13:30～14:30 講演1
 - 「今こそ聴きたいVR/AR丸わかり講座～現状から来たるべき未来まで～」
 - 株式会社 Mogura 代表取締役社長/ Mogura VR News 編集長
 - 一般社団法人 XR コンソーシアム エグゼクティブ・ディレクター
 - くぼた しゅん 久保田 瞬 氏
 - 14:30～14:40 休憩
 - 14:40～15:00 デモンストレーション
 - 【AR事例紹介】
 - 有限会社 大橋量器
 - いとう だいち 営業部 伊東 大地 氏
 - 日本総合ビジネス専門学校 ※実演

15:00～15:30 講演2

「ロマンティックなテクノロジー～幸福を求めて～」

IAMAS メディア表現研究科 教授

こばやし まさひろ

小林 昌廣 氏

15:30～ 質疑応答等

16:00 閉場

7 定員 30名（先着順） ※事前申込制

8 参加費 無料

9 申込み ソフトピアジャパン Web サイトで必要事項を入力し、送信してください。
申込みページ：<https://www.softopia.or.jp/events/20200902xr/>

10 問合せ 公益財団法人ソフトピアジャパン 新サービス創出支援室 担当：有馬
〒503-8569 大垣市加賀野 4-1-7

メール：service@softopia.or.jp

TEL：0584-77-1188 FAX：0584-77-1105

●報道機関関係者におかれましては、取材は事前にご一報ください。

[登壇者]

久保田 瞬 氏

株式会社 Mogura 代表取締役社長/ Mogura VR News 編集長

一般社団法人 XR コンソーシアム エグゼクティブ・ディレクター

経歴

慶應義塾大学法学部政治学科卒業後、環境省に入省。環境白書の作成等に携わる。
EC ベンチャー勤務を経て、VR/AR/MR/VTuber 専門メディアサイト Mogura VR 編集長。
VR ジャーナリスト。

VR が人の知覚する現実を認識に進化させ、社会を変えていく無限の可能性を感じ、身も心も捧げている。個人事業にてメディア「Mogura VR」を立ち上げのちに法人化。VR/AR 業界の情報集約、コンサルティングが専門。また、国外の主要イベントには必ず足を運んで取材を行っているほか、国内外の業界の中心に身を置きネットワーク構築を行っている。国内での XR 普及のためセミナーを各地で登壇。

伊東 大地 氏

有限会社大橋量器 営業部

会社概要

1950年の創業。大垣市で日本の伝統の道具「枡」を専門に製作する企業。

「枡」にこだわり、その技術と文化の伝承に努め、今後次の世代でも更に愛用される枡として技術と文化と心をしっかりと伝えながら、新しい枡の使い方の提案や新しい枡の開発に力を注いでいる。デザイナーやキャラクターとコラボした商品開発や、2018年には枡を若い世代の方にも身近に楽しむことができるように大垣市商店街内に「masu cafe」も運営。

今回は、日本総合ビジネス専門学校と AR 技術を使った共同開発商品のデモンストレーションを実演し解説する。

小林 昌廣氏

IAMAS メディア表現研究科 教授

学歴・経歴

大阪大学大学院 医学研究科博士、京都造形芸術大学 教授、元 IAMAS 図書館長

1959年東京生まれ。医学と哲学と芸術を三つの頂点とする三角形の中心に「身体」をすえて、独特の身体論を展開。医学史・医療人類学から見た身体、古典芸能（歌舞伎、文楽、能楽、落語）から見た身体、そして現代思想とくに表象文化論から見た身体などについて横断的に考察している。哲学や人類学、とくにコンピュータや科学技術に関する哲学的背景とか倫理的問題について発言している。

メディア表現の観点を踏まえ、これまで得た関連する文献や知識・情報を基に独自の目線と共に、自身の専門分野における考察から、xR がもたらす幸福とは何か？を解説いただく。